

■住民研修・【事例発表会】

◎入来麓伝建地区保存会

○発表テーマ「これまでとこれからの取組み」

○発表者：会長 種田 幸正

団体所在地：〒895-1402

☎ 0996-44-4023

E-mail : h.horinouchi@city.satsumasendai.lg.jp

URL :

会長：種田幸正

会員数：会員80名

年会費：300円

設立年月日：平成15年12月

●地区の概要について

- ・ 名称：薩摩川内市入来麓
- ・ 選定日：平成15年12月25日
- ・ 面積：約19.2ha
- ・ 特徴：屋敷周りを玉石垣（川石）で区割りしており、高さ約1m～2.5mほど。総延長は約5kmとされている。
中世山城の国指定史跡清色城跡が隣接しており、これとセットに保存活動を行っている。



耕作放棄地を活用した花の植え

●入来の歴史

- ・ 宝治元年（1247）に下向してきた渋谷氏から子孫によって受け継がれ、明治維新までの約620余年間の入来院氏（渋谷氏）の動向を記してある「入来文書」が残る。
- ・ 1501年には、この地区を麓と呼んでいた史料が残り、山城である清色城の麓に武家集落が存在していた。

●保存会の結成と活動

選定と同時に、保存会を結成。地区内に2つの自治会があり、自治会＝保存会ということでスタートした。

① 見学者への案内

保存会として誰でも案内ができるように心がけている。要望があれば、団体・個人を問わずに説明を行っている。

② 地区内の美化活動

地区の見学においてメインとなる「お仮屋馬場」に堀があり、そのヘドロ除去などの清掃を実施。

③ 遊休地の活用

耕作放棄地に菜の花やコスモスを植栽し、遊休地を荒れた状態にしないよう努めている。

④ 害虫駆除

地区の重要な構成要素である、生垣を害虫が大量発生した際、保存会において駆除活動を実施。



小中学生との交流活動

●保存会活動の課題

- ・ 後継者育成
- ・ 高齢化が進み、若者がほとんどいない。
- ・ 集落住民だけによる保存活動ではなく、地区コミュニティと連携した活動に取り組むこと。
- ・ 入来麓で初めての公開施設となる「旧増田家住宅」を活用した保存会活動の充実。



修理工事が進む旧増田家住宅